

人権学習展開例 第2学年

- **主題名** 対面ではないコミュニケーション
- **教材名** 文字でかいわをしよう
- **人権学習の視点** 普遍的な視点「コミュニケーション能力」
- **主題・教材について**

近年、小学生の間でもスマートフォン等でのSNSやコミュニケーションアプリを使ったコミュニケーションや、ゲーム機の通信機能を使ったコミュニケーションの場面が増えている。このような対面ではないコミュニケーションにおいては、誤解を生まないようにするために、対面の場合以上に相手の状況や気持ちを考えることが大切である。

本教材では、文字によるやりとりにおいて、相手の立場に立った言葉の使い方、選び方について考えさせたい。

● **ねらい**

文字のやりとりを通じて、相手の立場に立って適切な言葉を考えて伝えようとする態度を養う。

● **関連する教材** 人権学習資料集<小学校編Ⅳ> どう感じるかな (5・6年生用)

● **本時の展開**

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ○手紙の良さを確認させる。 ○本時の学習課題を知らせる。 	一斉 一斉	<ul style="list-style-type: none"> ○手紙に関わる経験を交流し、手紙の良さを認識する。 ○本時の学習課題を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「今までにもらってうれしかった手紙は？」と尋ね、手紙の良さ（何度も読み返せる、言えないことも書ける等）を引き出す。 ○教師の体験を話すのもよい。 	
展 開	相手の気持ちを考えよう				
	○相手の状況や心情を想像して、伝える言葉を考える大切さを理解させる。	一斉	○友達からの手紙に対する2つの返事の仕方について、どう感じるかを交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ○もらって嬉しい言葉や、悪気がなくても相手を傷つけてしまう言葉があることに気付かせる。 ○対面では相手の反応を見ることができが、手紙だと相手が傷ついたことに気付かないことがあることを押さえる。 	ワークシート
実際に、手紙のやりとりをしてみよう					
	○実際の手紙のやりとりを通して、相手の立場に立って、適切な言葉を考え、伝える大切さを認識させる。	ペア	○実際にペアで手紙のやりとりをする。	○相手に共感するような言葉を選ぶように声かけをする。	ワークシート

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
展 開		一斉	○書いてもらった返事についての感想を伝え合う。その後、全体で交流する。	○相手を思いやるよい表現方法について取り上げ、学級全体で共有する。	
ま と め	○本時のまとめをする。	個別 一斉	○学習を通して感じたことを書く。 ○意見や感想を交流する。	○相手の立場や心情を考え、言葉を選んでやりとりをすることの大切さを押さえる。	ワークシート

●評価

文字のやりとりを通じて、相手の立場に立って適切な言葉を考えて伝えようとする態度を養うことができたか。

平成 28 年度人権擁護啓発ポスターコンクール入選作品



京都府商工会連合会会長賞
与謝野町立江陽中学校 1年
和田 夢花さん